

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和5年 4月18日 (火)

2 調査対象 第6学年児童29名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査 (国語、算数)

- ① 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(2) 児童質問紙調査 (学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、全国平均を下回りました。

算数は、全国平均を下回りました。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。
- 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。

課題が見られた項目

- 新聞を読んでいますか。
- 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では活用力に関する問題に課題が見られました。本校では今後、次の3点について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 授業の中で「何を学習したのか」「何ができるようになったのか」を自分の言葉でまとめ、自己の学びを振り返る時間を設定する。
- ・ 授業で学んだ知識や技能を活かして問題や課題に取り組む習熟の時間を十分に確保し、「わかった」「できた」が実感できるようにする。
- ・ 自分の考えを理由や根拠を明確にして表現する機会を多く設定する。目的や相手に応じた適切なまとめ方について具体的に指導する。

6 保護者の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いします。

- 「ひばりっこチャレンジ」(家庭学習の進め方)の活用
 - ・ 家庭学習時間の確保と学習に適した環境づくり
 - ・ 学習に向かう姿の見守りとやる気につながる励まし
- 読書や情報との関わり合い
 - ・ 新聞や本等、活字に親しむ環境づくり
 - ・ 新聞やニュースについて話題にし、語り合う時間を持ち、多様な考えに触れる
- 自己マネジメント
 - ・ ゲームやスマートフォン等の使用についての家庭でのルールづくり